

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2021年4月1日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

建築構造の力学I(第2版)

正誤対象

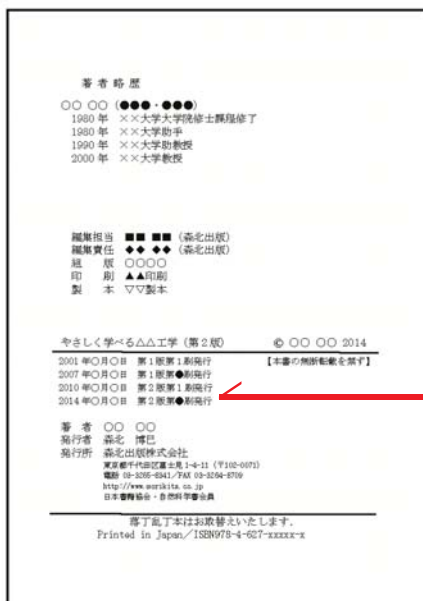
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

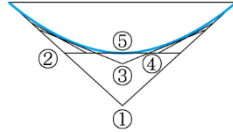
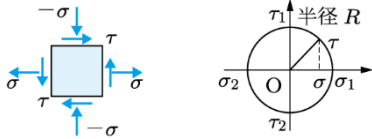
お持ちの本の刷数	
1 刷	対応刷数 1 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
1	58	9 行目	$Q_x - w_x dx - (Q_x + dQ_x) = 0$	$-Q_x + w_x dx + (Q_x + dQ_x) = 0$
1	75	表 5.1	(比較図-M 図) 右のように修正	
1	117	8.2 節 4 行目	$\dots(\sigma_x, d_y)$ と (τ_x, d_y) が作用し	$\dots(\sigma_x \cdot d_y)$ と $(\tau_x \cdot d_y)$ が作用し
1	122	図 8.9	右のように修正	
1	128	図 8.16(a)	(図の左上部) dL (図の中央部) dD	$dL/2$ $dD/2$
1	128	式 (8.19)	$E = \frac{2(1+m)}{m} G$ $G = \frac{m}{2(1+m)} E$	$E = \frac{2(1+m)}{m} G = 2(1+\nu) G$ $G = \frac{m}{2(1+m)} E = \frac{1}{2(1+\nu)} E$
1	130	9 行目	(鉄筋) ヤング係数 E_S , 応力度 σ_c …	(鉄筋) ヤング係数 E_S , 応力度 σ_s …
1	131	11 行目	$\Delta l = \varepsilon \times L = \dots$	$\Delta L_B = \varepsilon \times L = \dots$
1	132	8 行目	$\dots = 3.6 \times 10^{-3} \text{ mm}$	$\dots = 0.36 \text{ mm}$
1	132	16 行目	鉄筋 D25 の面積 $50 \text{ mm}^2/\text{本}$	鉄筋 D25 の面積 $500 \text{ mm}^2/\text{本}$
1	133	1 行目	$A_s = 50 \times 8 = 400 \text{ mm}^2$	$A_s = 500 \times 8 = 4000 \text{ mm}^2$

1	133	2行目	$A_c = 500 \times 500 - 400 = 2.46 \times 10^5 \text{ mm}^2$	$A_c = 500 \times 500 - 4000 = 2.46 \times 10^5 \text{ mm}^2$
1	133	問図 8.2	$P = 50 \text{ kN}$	$P = 150 \text{ kN}$
1	140	9.3節 4行目	…，微小面積に原点からの距離を掛けて，…	…， X 軸または Y 軸まわりを考えて，微小面積に原点からの距離 dy または dx を掛けて，…
1	144	下から 4行目	$\dots = \frac{1}{4} r^4 = \frac{1}{64} D^4$	$\dots = \frac{1}{4} \pi r^4 = \frac{1}{64} \pi D^4$
1	148	例題 9.3(2)	図心を通る主軸に関する断面係数 Z を求めよ。	図心を通る X 軸・ Y 軸に関する断面係数 Z を求めよ。
1	149	例題 9.4(3)	図心を通る主軸に関する断面係数 Z_{x_0} を求めよ。	図心を通る X_0 軸に関する断面係数 Z_{x_0} を求めよ。
1	153	式 (9.29)	$\tan 2\theta = \frac{2I_{xy}}{I_x - I_y}$	$\tan 2\theta = -\frac{2I_{xy}}{I_x - I_y}$
1	161	下から 4行目	E :材料のヤング率	E :材料のヤング係数
1	162	図 10.3(a)	(図上部) $d\psi$	$d\phi$
1	162	式 (10.3)	$\sigma = \frac{M}{I} y = \frac{M}{I/y} = \frac{M}{Z}$	$\sigma = \frac{M}{I} y = \frac{M}{I/y}$
1	162	下から 3行目	単位は $\text{kN} \cdot \text{mm}/\text{mm}^3 = \text{N}/\text{mm}^2$ となる。	単位は $\text{N} \cdot \text{mm}/\text{mm}^3 = \text{N}/\text{mm}^2$ となる。
1	163	下から 4行目	$= 26.7 \text{ N}/\text{mm} = 267 \text{ kN}/\text{m}$	$= 26.7 \text{ N}/\text{mm} = 26.7 \text{ kN}/\text{m}$
1	163	下から 2行目	$\sigma_A = \frac{M_{\max}}{Z} = \frac{M_{\max}}{I_0} y_A = \dots$	$\sigma_A = \frac{M_{\max}}{I_0} y_A = \dots$
1	166	式 (10.7)	$N_L + N_R + N_U = \int_y^{y_t} d\sigma dA - \tau b dx$	$N_L + N_R + N_U = \int_y^{y_t} d\sigma dA - \tau b dx = 0$
1	169	1行目	$\dots = 1.28 \text{ N}/\text{mm}^2$	$\dots = 12.8 \text{ N}/\text{mm}^2$
1	175	下から 5行目	$\frac{d^2 y}{dx^2} = -\frac{M_x}{EI}$	$\frac{d^2 y}{dx^2} = -\frac{M_x}{EI}$

1	182	10.4 2行目	N が作用している.	P が作用している.
1	199	式 (12.10)	$d\delta_x = \gamma_y d_x$	$d\delta_x = \gamma_y d\mathbf{x}$